

屋上緑化 | 失敗を避けるための10チェック — 判断前に立ち止まるための簡易確認 —

※このチェックは、屋上緑化方式や製品の優劣を決めるものではありません。

※「なぜそれを選ぼうとしているのか」を整理するための確認用資料です。

判断前の10チェック

□ ① 高温・乾燥に本当に耐えられる前提ですか？

猛暑や乾燥で散水が止まった場合でも、すぐに状態が悪化しない前提になっていますか。

「植物が強いから大丈夫」という説明だけで判断していませんか。

□ ② 豪雨時の土壤流出や水たまりを想定していますか？

集中豪雨の際、水はどこから入り、どこを通って、どこへ抜けますか。

排水口が一時的に詰まった場合の影響を考えていますか。

□ ③ 雑草が増えたとき、管理が破綻しませんか？

雑草は必ず出るものとして考えていますか。

除草作業が現実的な負担に収まる構造でしょうか。

□ ④ 管理が理想通り続く前提になっていませんか？

管理者が変わる、忙しくなる、一時的に管理が止まることがあります。

こうした状況でも致命的にならない構造でしょうか。

□ ⑤ 施工する人によって結果が大きく変わりませんか？

施工者の技量や経験に強く依存する方式ではありませんか。

「上手な人がやれば大丈夫」になっていませんか。

□ ⑥ 実績や採用数の多さだけで安心していませんか？

実績が多い理由を、環境条件や使われ方と合わせて説明できますか。

失敗事例が見えにくくなっていますか。

□ ⑦ 「No.1」「一番」という広告表現だけで判断していませんか？

実績 No.1、シェア No.1 といった言葉だけで安心していませんか。

その No.1 が、どんな条件を前提にしているか説明できますか。

□ ⑧ カタログや製品情報だけで判断していませんか？

数値・写真・イメージだけでなく、実際の屋上環境や経年変化まで想像していますか。

書かれていない前提条件を見落としていませんか。

□ ⑨ 長期保証があるから安心、になっていませんか？

保証は安心材料であって、成立する理由そのものではありません。

保証がなくても成立しやすい理由を説明できますか。

□ ⑩ 数年後・改修時まで見据えていますか？

施工直後ではなく、3年後・5年後の状態を想像していますか。

防水改修時に、部分撤去や再設置が可能な構造でしょうか。

※本資料は特定の製品・方式を推奨するものではありません。

※詳細な検討には、環境条件・構造・管理・更新性を含めた個別検証が必要です。